

## 外来語に関する基礎的研究 (Ⅱ)

——「な」形容詞の語形を中心に——

戸 田 利 彦

(国 文 科)

### I. 研究の目的と方法

「ハンディーでトレンドィな本格〔ヨコ組〕辞典」「現代社会ヘリベラルな批判」「警察の捜査リアルに」など、新聞や雑誌の広告文句・記事の見出し等で、外来系の「な」形容詞を目にすることが多い。「ハンディー」「トレンドィ」「リベラル」「リアル」は、それぞれ「handy」「trendy」「liberal」「real」という英語の形容詞を原語としている。これらの中で、「ハンディー」と「リアル」は、日本語のシソーラス『分類語彙表』（国立国語研究所資料集6, S39）に、既におよそ30年前に掲載されており、また、現在においても頻繁に使用されており、日常語として定着した感がある。「な」形容詞には意外とこの種の語が多い。

これに対して、「リベラル」は、“自由・自由主義的”などの意味を有し、思想や文化を示す語としてやや専門性を帯びている。その点で、多用されるわけではないが、「リベラルアーツ」〈大学の一般教養科目〉「リベラルな考え方」〈自由主義的な考え方〉などのように、複合語の連体修飾成分として、あるいは「な」形容詞として、日本語の中に定着しつつあると言ってよからう。もちろん、一般的には、その時代の特定の思想や文化を示す語は、日常語としては定着しにくい。例えば『分類語彙表』には、「アブレゲール」(ap<sup>注1)</sup>rs-guerre)というフランス語を原言語とする語が「相の類」の語として掲載されている。筆者が学生に対して行なった調査では、この語を聞いたことがあるとした学生は50名中の4名にすぎず、日常会話で使うとした学生は皆無であつた。戦後の一時代を風靡した流行語も現代では日常語としてはほとんど死語化している。しかし、この種の「な」形容詞は多くはない。

同様に流行した語でも、その後日常語として成長し

つつあるものもある。例えば、人気女性ニュースキャスターの発言を契機に有名になった「フレキシブル」(flexible)がある。“柔軟性”が必要とされる現代日本人に、憧れと共感をもって受け入れられた語である。近年流行した「ファジー」(fuzzy)も同傾向の語である。

名詞が圧倒的多数を占める外来語は、その7割近くが一時的にもてはやされ、やがて定着することなく消えていくと言われる。しかし、「な」形容詞は、以上に述べたように、その時代のみの一時的な思想・文化を示す語や一部の流行語・世相語を除いて、比較的よく定着していると考えられる。

筆者が以前行なった調査では、基本外来語300語に登場するものは、「スマート(な)」「ナウ(な/い)」「モダン(な)」「ロマンチック(な)」の4語のみであつた<sup>注4)</sup>。基本外来語の選定では、一般に、生活に直接関係する語に重点が置かれるため、名詞が多くなることは避けられない。しかし、現実には、相当数の「な」形容詞が、それらに対応する和語や漢語では十分に表現しえない語感を有する語として、あるいは、現存する和語や漢語では表現しえない性質や状態を示しうる新たな語として、積極的に使用されている点に注目する必要がある。

そこで、本稿では、日常生活の中で使用されている外来系の「な」形容詞を、まず一次的言語資料として収集・整理し、ついで二次的言語資料としての二種の語彙表におけるそれらの扱われ方を分析し、あわせて原語の出自及び品詞性の調査をし、その結果を報告することを目的とする。また、その結果から、外国人の日本語学習者に対する外来系「な」形容詞の指導のあり方の視座をも得たいと考える。

## II. 分析の観点

いわゆる形容動詞に対しては、肯定論・否定論とも存在し、これまで盛んな論争を経てきたが、いまだその決着を見ていない。この品詞としての存立自体の問題のほか、これを認定する場合における他品詞との連続性の問題がある。すなわち、名詞を中心とした他品詞との境界線を明確には引きにくい語が相当数あるという問題である。具体的には、以下の4点に集約される。①「自由な雰囲気」「自由を愛する」「自由の女神」に見られる名詞に対する品詞性の問題。②「柔らかい」と「柔らかだ」に見られる形容詞との語形の揺れの問題。③「一ニ」の形の副詞に比した場合の「なる」「する」以外の動詞に対する連用修飾機能の曖昧さの問題。④「相当の数」に見られるような「一ノ」の形の存在の問題。

以上の状況の中で、筆者があえてカッコ付きの「な」形容詞という語を用いたのは、以下の理由による。まず、研究の目的が日本語教育の実際に資する点にあること。一般に、日本語教育においては、いわゆる形容動詞は、意味の面では形容詞と、また形態の面では名詞と共通の性質を有し、名詞及び形容詞から区別する最も特徴的な「一ナ」の形を基本形とすることから、形容詞を「イ形容詞」と呼ぶのに対して、形容動詞を「ナ形容詞」と呼ぶ。いわゆる「ダナ活用」の歴史性に主眼を置いた「形容動詞」という命名よりも、現代の日本語文法の外国人日本語学習者への論理的かつ簡明な説明に供する「ナ形容詞」という命名の方が、指導的側面からは、より実際的であると考えた。したがって、筆者は基本的には「ナ形容詞」を支持する。しかし、外来系の「ナ形容詞」を取り扱う時に、注意を要するのは、「一ダ／一ナ／一ニ」などの活用形が必ずしもそろっていない語が多い点である。いわゆる「形容動詞」あるいは「ナ形容詞」として認定されるためには、それらの活用形が整っていることが条件とされるが、外来系の「ナ形容詞」には、「一ナ」の形しかなく、現時点では、むしろ「連体詞」として認定されるべきものが多い。そこで、筆者は、それらの語が将来的に「ナ形容詞」に成長する可能性も考慮して、カッコ付きの「な」形容詞というより広い概念を持つ語を用いて、それらの語も包括的に調査対象としていく立場をとることとする。

一次的言語資料としての「な」形容詞の収集は、以下の手順で行なった。(1)新聞・雑誌、テレビ・ラジオ番組、日常会話等で使用されているものの収集及び整理。(2)(1)の資料に基づく学生へのアンケート調査。(3)

(2)をふまえた上での語彙表<sup>(注6)</sup>の作成。

以上の結果、「な」形容詞として259語、複合語の連体修飾成分としてのみ使用される語<sup>(注7)</sup>( $( )$ 内のもの)として119語、合計378語を語彙表に掲載した(左肩の\* : 若者言葉的なもの、語末の[a] : 原語の省略形が用いられているもの)。

これらの語を、以下の1~3の観点に従って分析した。

### 1 : 語彙表における掲載(分類・認定)

(1)『分類語彙表』(国立国語研究所 1964) : 以下「語彙表A」とする。

○ : 「相の類」として分類されているもの

△ : 「相の類」として分類されているが「一ナ」形がないと判断されるもの(複合語の中で連体修飾成分としてのみ掲載されているものも含む)

△ : 複合語の中で連体修飾成分として掲載されていると共に「体の類」<sup>(注9)</sup>の語としても分類されているもの

N : 「体の類」としてのみ分類されているもの

\* : その語の名詞形のみが掲載されているもの

(2)『日本語大辞典』(講談社 1989) : 以下「語彙表B」とする

○ : 形容動詞として認定されているもの<sup>(注10)</sup>

△ : 複合語の中で連体修飾成分として掲載されているもの

P△ : 複合語の中で連体修飾成分として掲載されていると共に接頭辞としても認定されているもの

N△ : 複合語の中で連体修飾成分として掲載されていると共に名詞としても認定されているもの

N : 名詞としてのみ認定されているもの

\* : その語の名詞形のみが掲載されているもの

### 2 : 原言語

原言語の略号として以下のものを用いた。

日 : 日本語

英 : 英語

独 : ドイツ語

仏 : フランス語

ス : スペイン語

ラ : ラテン語

### 3 : 原語の品詞性

原語の品詞性を示す略号として以下のものを用いた。

A : 形容詞 (adjective)

N: 名詞 (noun)

P: 前置詞 (preposition)

Pf: 接頭辞 (prefix)

\*: 和製外国語であることを示す

### Ⅲ. 分析の結果

以上の諸点から分析をおこなった結果を、以下の表にまとめて示した。

外 来 語		原 語			
「な」形容詞	語彙集		原 言 語	原語のつづり	品 詞 性
	A	B			
*アートな		N△	英	art	N
アカデミックな	*	○	〃	academic	A
アクティブな		○	〃	active	〃
アグレッシブな		○	〃	aggressive	〃
アクロバチックな		○	〃	acrobatic	〃
(アスレチック)		N△	〃	athletic	〃
アダルトな		N△	〃	adult	〃
アットホームな		○	〃	at home	〃
アップToDateな		○	〃	up-to-date	〃
アナキーな		○	〃	anarchy	〃
*アバウトな			〃	about	P
アバンギャルドな		N△	仏	avant-garde	N
アバンチュールな		N	〃	aventure	〃
アブノーマルな		○	英	abnormal	A
アブレゲールな	○	N△	仏	après-guerre	N
(アメリカン)		P△	英	american	A
(アングラ)[a]		N△	〃	underground	〃
アンティークな		○	仏	antique	〃
アンニユイな		N△	〃	ennui	〃
アンバランスな[a]	N	○	英	unbalanced	〃
アンビバレントな		*	仏	ambivalent	〃
アンフェアな		○	英	unfair	〃
アンラッキーな		○	〃	unlucky	〃
イージーゴーイングな		○	〃	easygoing	〃
イージーな		○	〃	easy	〃
(イエロー)		N△	〃	yellow	〃
(イタリック)		N	〃	italic	〃
(インスタント)		N△	〃	instant	〃
インターナショナルな		○	〃	international	〃
(インテリジェント)	*	△	〃	intelligent	〃

インフォーマルな		○	英	informal	A
インポテンツな	○	N△	独	Impotenz	N
(ウィーク)		△	英	weak	A
(ウィークリー)		N△	〃	weekly	〃
*ウェーブーな	*	*	〃	wavy	〃
ウェットな	○	○	〃	wet	〃
エキサイティングな		*	〃	exciting	〃
エキセントリックな		○	〃	eccentric	〃
エキゾチックな		○	〃	exotic	〃
エグゼクティブな		N△	〃	executive	〃
エゴイスティックな	*	○	〃	egoistic	〃
(エコノミック)		△	〃	economic	〃
(エステティック)		N△	〃	aesthetic	〃
エスニックな		○	〃	ethnic	〃
エッチな		○	日	(hentai)	※
エネルギッシュな	*	○	独	energisch	A
エポックメイキングな		○	英	epoch-making	〃
エレガントな	○	○	〃	elegant	〃
エロティックな		○	〃	erotic	〃
オーソドックスな	○	○	〃	orthodox	〃
(オーディオ)		N△	〃	audio	〃
オーバーな		○	〃	over	〃
オープンな	○	○	〃	open	〃
(オール)	△	N△	〃	all	〃
(オールド)		P△	〃	old	〃
オールマイティーな		○	〃	almighty	〃
オトメチックな	*		日	(otome)+-tic	*A
オフィシャルな		○	英	official	A
オプティミスティックな		*	〃	optimistic	〃
オリエンタルな		P△	〃	oriental	〃
オリジナルな		○	〃	original	〃
(オレンジ)		N△	N△	orange	〃
カジュアルな		○	〃	casual	〃
カラフルな		*	○	colorful	〃
(カントリー)		△	〃	country	〃
*キャッシュな		N△	〃	cash	N
(キャッシュレス)		△	〃	cashless	A
*キャッチーな	*		〃	catchy	〃
キュートな		○	〃	cute	〃
(クイック)		N△	〃	quick	〃
クールな		○	〃	cool	〃
グッドな		N△	〃	good	〃
クラシックな	○	○	〃	classic	〃
グラマーな	○	N△	〃	glamour	〃

(グランド)		P△	英	grand	A
クリアーな			ク	clear	ク
クリーミーな	*	*	ク	creamy	ク
(グリーン)	N	N△	ク	green	ク
クリーンな	*	○	ク	clean	ク
クリエイティブな		*	ク	creative	ク
(クリスタル)		N△	ク	crystal	ク
クレイジーな		○	ク	crazy	ク
クレバーな			ク	clever	ク
グローバルな		○	ク	global	ク
(グロッキー)	△	○	ク	groggy	ク
(クロス)		N△	ク	cross	ク
グロテスクな	○	○	ク	grotesque	ク
(ケアレス)		△	ク	careless	ク
(ケミカル)		P△	ク	chemical	ク
ゴージャスな		○	ク	gorgeous	ク
(ゴースト)		N△	ク	ghost	ク
(コードレス)	*	*	ク	cordless	ク
(ゴールド)	△	N△	ク	golden	ク
(コールド)		N△	ク	cold	ク
コケティッシュな		○	ク	coquettish	ク
(ゴシック)	△	N△	ク	gothic	ク
コスメティックな		N△	ク	cosmetic	ク
(コマーシャル)		P△	ク	commercial	ク
コミカルな		○	ク	comical	ク
(コミック)		△	ク	comic	ク
コンサバティブな			ク	conservative	ク
コンスタントな		○	ク	constant	ク
(コンチネンタル)		N△	ク	continental	ク
コンパクトな		○	ク	compact	ク
(サイキック)			ク	psychic	ク
サイケデリックな		○	ク	psychedelic	ク
サディスティックな		*	ク	sadistic	ク
(シークレット)		N△	ク	secret	ク
(ジグザグ)	△	○	ク	zigzag	ク
システマティックな	*	○	ク	systematic	ク
シックな	○	○	仏	chic	ク
*シティーな		N△	英	city	N
(シニア)		N△	ク	senior	A
シニカルな		○	ク	cynical	ク
シビアな		○	ク	severe	ク
ジャーナリスティックな	*	○	ク	journalistic	ク
シャープな	N	○	ク	sharp	ク
シャイな		○	ク	shy	ク

(ジャンボ)		○	英	jumbo	A
ジューシーな	*		ク	juicy	ク
シュールリアスティックな	*	*	ク	surrealistic	ク
(ジュニア)	△	N△	ク	junior	ク
(ショート)	N	N△	ク	short	ク
ショッキングな	*	○	ク	shocking	ク
シリアスな		○	ク	serious	ク
(シルバー)		N△	ク	silver	ク
(シングル)	△	N△	ク	single	ク
(シンクロ)	△	N△	ク	synchro	ク
シンプルな		○	ク	simple	ク
シンボリックな	*	*	ク	symbolic	ク
(スイート)		○	ク	sweet	ク
(スーパー)	△	N△	ク	super	Pf
スタイリッシュな	*	*	ク	stylish	A
スタンダードな		○	ク	standard	ク
ステディーな			ク	steady	ク
(ステンレス)		N△	ク	stainless	ク
ストレートな		○	ク	straight	ク
スパイシーな		*	ク	spicy	ク
スピーディーな	*	△	ク	speedy	ク
(スペシャル)		N	ク	special	ク
スポーティーな	○	○	ク	sporty	ク
スマートな	○	○	ク	smart	ク
スムーズな		○	ク	smooth	ク
*スモーキーな		*	ク	smoky	ク
スリムな		○	ク	slim	ク
スリリングな	*	○	ク	thrilling	ク
スレンダーな		N	ク	slender	ク
(スロー)	△	○	ク	slow	ク
スローモーな [a]		○	ク	slowmotion	ク
(セカンド)		N△	ク	second	ク
セクシーな	*	○	ク	sexy	ク
(ゼネラル)	△	P△	ク	general	ク
センシティブな	*	○	ク	sensitive	ク
センセーショナルな	*	○	ク	sensational	ク
センチメンタルな	○	○	ク	sentimental	ク
(ソーシャル)		○	ク	social	ク
(ソーラー)		P△	ク	solar	ク
ソフトな	N	○	ク	soft	ク
(ダーク)		○	ク	dark	ク
ダーティーな			ク	dirty	ク
(ターミナル)		N△	ク	terminal	ク
(タイト)	△	○	ク	tight	ク

ダイナミックな		○	英	dynamic	A
タイムリーな	*	○	ク	timely	ク
ダイレクトな	○	○	ク	direct	ク
*ダウトな		N	ク	doubt	ク
タフな	○	○	ク	tough	ク
(ダブル)	△	N△	ク	double	ク
ダルな		○	ク	dull	ク
(チープ)		△	ク	cheap	ク
チャーミングな		○	ク	charming	ク
ティピカルな	*	○	ク	typical	ク
デカダンな	○	○	仏	décadent	ク
(テクニカル)	*	○	英	technical	ク
デコラティブな		*	ク	decorative	ク
(デジタル)		N△	ク	digital	ク
(デッド)	△	△	ク	dead	ク
デラックスな	○	○	ク	deluxe	ク
デリケートな		○	ク	delicate	ク
デリシヤスな		○	ク	delicious	ク
*デンジャラスな			ク	dangerous	ク
トータルな		○	ク	total	ク
(ドキュメンタリー)		N	ク	documentary	ク
ドグマチックな		*	ク	dogmatic	ク
(トップ)	N	N△	ク	top	ク
(トップレス)		N	ク	topless	ク
(トニック)		N	ク	tonic	ク
ドメスティックな		○	ク	domestic	ク
ドライな	○	○	ク	dry	ク
ドラスティックな		○	ク	drastic	ク
トラディショナルな		△	ク	traditional	ク
ドラマチックな	*	○	ク	dramatic	ク
トリッキーな	*	*	ク	tricky	ク
(トリプル)		P△	ク	triple	ク
ドレッシーな	○	○	ク	dressy	ク
トレンドイーな		*	ク	trendy	ク
ナーバスな		○	ク	nervous	ク
ナイーブな		○	ク	naive	ク
*ナイスな		N	ク	nice	ク
ナウな		○	ク	now	ク
ナチュラルな		○	ク	natural	ク
ナンセンスな	N	○	ク	nonsense	ク
ニヒルな	*	○	ラ	nihil	N
(ニュー)	△	N△	英	new	A
ニュートラルな		N	ク	neutral	ク
*ヌーディーな	*	*	ク	nudie	ク

(ネイティブ)			英	native	A
ネガティブな		○	ク	negative	ク
ノーブルな		○	ク	noble	ク
ノーマルな		○	ク	normal	ク
ノスタルジックな		*	ク	nostalgic	ク
(バージン)		N	ク	virgin	ク
(パーソナル)	*	○	ク	personal	ク
ハードな		○	ク	hard	ク
(ハーフ)		N△	ク	half	ク
パーフェクトな		△	ク	perfect	ク
(パーマネント)	N	N△	ク	permanent	ク
*パーミーな	*	*	日	perm + - y	*A
(バイアス)	△	N△	英	bias	A
バイオレンスな		N	ク	violence	N
ハイカラな	○	○	日	high+collar	*N
ハイクオリティーな			ク	high+quality	ク
ハイクラスな		○	英	high-class	A
ハイセンスな			日	high+sense	*N
ハイソな [a]		N	英	high soceity	ク
ハイな	△	P△	ク	high	A
ハイブリッドな		N△	ラ	hybrid	ク
(バイリンガル)		N	英	bilingual	ク
ハイレベルな			ク	high-level	ク
ハスキーな		○	ク	husky	ク
パセチックな		○	ク	pathetic	ク
ハッピーな		△	ク	happy	ク
(バロック)	△	N△	仏	baroque	ク
パワフルな		N△	英	powerful	ク
(ハングリー)		○	ク	hungry	ク
ハンサムな		○	ク	handsome	ク
ハンディーな	○	○	ク	handy	ク
ビジュアルな		○	ク	visual	ク
ヒステリックな	*	○	ク	histeric	ク
ビッグな		N△	ク	big	ク
ヒットな	N	N△	ク	hit	N
ビビッドな		○	ク	vivid	A
ピュアーな			ク	pure	ク
ヒューマニスティックな		○	ク	humanistic	ク
ヒューマンな		○	ク	human	ク
ヒロイックな		○	ク	heroic	ク
(ピンク)	N	N△	ク	pink	ク
(ファースト)		△	ク	fast	ク
(ファースト)		P△	ク	first	ク
(ファーストクラス)		N	ク	first-class	ク

(ファイン)		△	英	fine	A
*ファジーな		△	ク	fuzzy	ク
ファッショナブルな		*	ク	fashionable	ク
ファナティックな		○	ク	fanatic	ク
ファンキーな		N	ク	funky	ク
ファンタスティックな		○	ク	fantastic	ク
ファンタジックな			日	fantasy+ -ic	*A
フィジカルな		○	英	physical	A
フィットな		N△	ク	fit	ク
フィフティフィフティな			ク	fifty-fifty	ク
フェアな		○	ク	fair	ク
フェミニンな		*△	ク	feminine	ク
フォーマルな		○	ク	formal	ク
(ブライダル)		N△	ク	bridal	ク
(フライド)		*△	ク	fried	ク
プライベートな		○	ク	private	ク
(ブラウン)		N△	ク	brown	ク
プラクティカルな		○	ク	practical	ク
プラグマチックな		*	ク	pragmatic	ク
(プラス)		N N△	ク	plus	ク
(ブラック)		N△	ク	black	ク
(フラット)		N	ク	flat	ク
プラトニックな		○	ク	platonic	ク
フランクな		○	ク	frank	ク
フリーな		○ ○	ク	free	ク
プリティーな			ク	pretty	ク
(フル)		△ ○	ク	full	ク
(ブルー)		N N△	ク	blue	ク
プレーンな		○ ○	ク	plain	ク
フレキシブルな		○	ク	flexible	ク
フレッシュな		○	ク	fresh	ク
フレンドリーな		N△	ク	friendly	ク
ブロークンな		○	ク	broken	ク
(プロフェッショナル)		* ○	ク	professional	ク
ベーシックな		* ○	ク	basic	ク
ペシミスティックな		*	ク	pessimistic	ク
(ベスト)		N N△	ク	best	ク
ベターな		△	ク	better	ク
ペダンチックな		○	ク	pedantic	ク
ヘビーな		N△	ク	heavy	ク
ヘルシーな		○	ク	healthy	ク
ボーイッシュな		* ○	ク	boyish	ク
(ポータブル)		* P△	ク	portable	ク
ポジティブな		○	ク	positive	ク

ホットな		N△	英	hot	A
ポップな		△	ク	pop	ク
ポピュラーな		○ ○	ク	popular	ク
*ホラーな		N	ク	horror	ク
(ホホワイト)		N△	ク	white	ク
ポルノチックな		*	日	porno+ -tic	*A
マイナーな		○	英	minor	A
(マイナス)		N N△	ク	minus	ク
マイルドな		○	ク	mild	ク
マジカルな		*	ク	magical	ク
*マッチョな			ス	macho	ク
マットな		N	仏	matt(e)	ク
マッドな			英	mad	ク
マニアックな		*	ク	maniac	ク
*マニュアルな		N	ク	manual	ク
マルチな		P△	ク	multi	P f
マンガチックな		* *	日	(manga)+ -tic	*A
ミステリアスな		*	英	mysterious	A
ミスマッチな			ク	mismatch	N
(ミディアム)		N	ク	medium	A
(ミドル)		N△	ク	middle	ク
(ミネラル)		N△	ク	mineral	ク
(ミュージカル)		N P△	ク	musical	ク
(ミリタリー)		N△	ク	military	ク
ムーディーな		* ○	ク	moody	ク
(メイン)		P△	ク	main	ク
メジャーな		○	ク	major	ク
メタフィジカルな		*	ク	metaphysical	ク
メタリックな		△	ク	metallic	ク
(メデイカル)		△	ク	medical	ク
(メモリアル)		* △	ク	memorial	ク
メランコリーな		N	ク	melancholy	ク
メルヘンチックな		* 日	Märchen+ -tic	*A	
メローな			英	mellow	A
メロディアスな		* *	ク	melodious	ク
メンタルな		△ ○	ク	mental	ク
モダンな		○ ○	ク	modern	ク
モノトナスな		*	ク	monotonous	ク
(モノラル)		N	ク	monaural	ク
*ヤンキーな		N	ク	Yankee	ク
ユーモラスな		* ○	ク	humorous	ク
ユニークな		○	ク	unique	ク
(ユニバーサル)		○	ク	universal	ク
(ヨーロピアン)		* *	ク	European	ク

(ライト)	N	N	英	right	A
ライト	N	N△	ク	light	ク
(ラウド)		△	ク	loud	ク
ラッキーな		○	ク	lucky	ク
ラディカルな		○	ク	radical	ク
ラフな		○	ク	rough	ク
ラブリーな	*	*	ク	lovely	ク
リアスティックな	*	○	ク	realistic	ク
リアルな	○	○	ク	real	ク
リーズナブルな			ク	reasonable	ク
リスキーな		*	ク	risky	ク
リズムカルな	*	○	ク	rhythmical	ク
リッチな		○	ク	rich	ク
リニューアルな			ク	renewal	N
(リバーシブル)		N	ク	reversible	A
リベラルな		○	ク	liberal	ク
ルーズな	○	○	ク	loose	ク
(ルーチン)		N	ク	routine	ク
レアな		N	ク	rare	ク
(レギュラー)		○	ク	regular	ク
レトロな			仏	rétro	Pf
(レフト)	N	N	英	left	A
レラティブな			ク	relative	ク
(レンタル)		N△	ク	rental	ク
(ロー)	△	P△	ク	low	ク
ローカルな	○	○	ク	local	ク
(ロータリー)	N	N△	ク	rotary	ク
ロジカルな		○	ク	logical	ク
(ロマンスグレー)	*	N	日	romance+gray	*A
ロマンチックな	○	○	英	romantic	A
(ロング)		N	ク	long	ク
ロンリーな			ク	lonely	ク
(ワーカホリック)		N	ク	workaholic	ク
(ワースト)		N	ク	worst	ク
ワイドな		○	ク	wide	ク
(ワイヤレス)		N△	ク	wireless	ク
ワイルドな		○	ク	wild	ク
(ワンサイド)[a]		△	ク	onesided	ク
ワンダフルな		○	ク	wonderful	ク
ワンパターンな	*	○	日	one+pattern	*N

IV. 結果の考察

まず、語彙表の見出し語について考察しておく。学生に対するアンケート調査の結果を参考に、語彙表には、いわゆる「若者言葉」的な「な」形容詞も、一部の特殊なものを除いて、あえて掲載してある。前述の「フレキシブル」「ファジー」のごとく、将来、日常語として成長する可能性のあるものも含まれていると判断されるからである。具体的には、「アートな」「アバウトな」「ウェービーな」「キャッシュな」「キャッチーな」「シティーな」「スモーキーな」「ダウトな」「デンジャラスな」「ナイスな」「ヌーディーな」「パーミィーな」「ファジーな」「ホラーな」「マッコな」「マニュアルな」「ヤンキーな」の17語である。これらの語には、いくつかの特徴が見られる。まず、「アートな」「アバウトな」「シティーな」のように語幹となる部分の原語が形容詞以外の品詞であるものが見られること、次に、「キャッチーな」「パーミィーな」のように原語には存在するが一般的にはあまりなじみのないものが見られること、第三に、「アバウトな」「キャッシュな」のように原語の意味から派生した比喩的な転義の成立したものが見られること、第四に「ファジーな」「マッコな」のように世相語・流行語の類の語が見られること、第五に、「デンジャラスな」「ナイスな」のようにそれに対応する和語や漢語が存在するにもかかわらず漸新さやいわゆる洒落た感じを出すために使用される語が見られることなどである。

次に、原語の省略形が用いられているものについて考察しておく。具体的には、「under-ground」の語構成成分のそれぞれ後半が省略されてきた「アングラ」、 「unbalanced」「onesided」の機能形態素“-ed”の省略による「アンバランスな」「ワンサイド」、 「slowmotion」「high society」の後半省略による「スローモーな」「ハイソな」があげられる。

また、「な」形容詞の略語については、語彙表にはあげなかったが、「アブな」「アブレンな」「インボな」「エロな」「グロな」「コンサバな」「サイケな」「シュールな」「センチな」「プロ」がある。一般に、拍数の多い長大語が省略される傾向にある点は、他の外来語と同様である。

以上の諸点をふまえた上で、以下、外来系「な」形容詞(259語)及び複合語の連体修飾成分としてのみ使用される語(119語)の分析結果を、観点別に考察しておく。

## 1：語彙表における掲載（分類・認定）

(1) 「語彙表A」 「語彙表A」においては、○は、「アプレゲールな」「インポテンツな」「ウェットな」など29例が見られるが、「アプレゲールな」「デカダンな」「ハイカラな」「モダンな」のように、最近では使用されない語もある。△は、「オール」「グロッキー」「ゴールデン」など20例が、△△は、「オレンジ」の一語のみで、Nは、「アンバランスな」「グリーン」「シャープ」など20例が、また、\*は、「アカデミックな」「インテリジェント」「ウェービーな」など50例が見られる。

「語彙表A」において、「相の類」として分類されているものは49例あるが、その中で「な」形容詞と認定しうるものは29例にすぎない。紀三万二千六百語が収められている語彙表中に、0.1%にも満たない数しか掲載されていないことになる。基本語の中における外来系「な」形容詞の比率の低さが如実にうかがえる。また、「語彙表A」に、語彙表259語の中の29語（11%）しか掲載されていない点にも留意すべきである。

(2) 「語彙表B」 「語彙表B」においては、○は、「アカデミックな」「アクティブな」「アグレッシブな」など169例が見られるが、この中で「ジグザグ」「ジャンボ」「スイート」など14例は「一ナ」形が存在しないと判断されるので、純粋な「な」形容詞は、155例となる。△すなわち、連体修飾成分としてのみ掲載されているものは、「インテリジェント」「ウィーク」「エコノミック」など26例が見られる。P△は、接頭辞としても認定されているものであるが、「アメリカン」「オールド」「オリエンタルな」など16例が見られる。△△は、名詞との品詞に関する連続性が極めて強いと考えられる語であるが、「アートな」「アスレチック」「アダルトな」など72例が見られる。Nは、「アバンチュールな」「イタリック」「スペシャル」など30例が、また、\*は、「アンビバレントな」に「アンビバレンス」、「ウェービーな」に「ウェーブ」、「オプティミスティックな」に「オプティミズム」など35例が見られる。

「語彙表B」では、いわゆる「形容動詞」の認定基準の揺れが、語彙表への「な」形容詞の掲載に若干の揺れをもたらしていることは否定できない。しかし、比較的最近出版された辞書として、外来系「な」形容詞の実態をよくとらえていると言えよう。

## 2：原言語

「な」形容詞及び複合語の連体修飾成分としてのみ

使用される語の両者を合わせた場合、最も多いのは英語（352語）で、以下、日本語（11語）、フランス語（10語）、ドイツ語（2語）、ラテン語（2語）、スペイン語（1語）の順である。また「な」形容詞のみの場合も、英語（234語）、日本語（10語）、フランス語（9語）、ドイツ語（2語）、ラテン語（2語）、スペイン語（1語）で、順位は同じである。これは、現代雑誌資料の上位五つの言語、すなわち、英語（80.8%）、フランス語（5.6%）、ドイツ語（3.3%）、イタリア語（1.5%）、オランダ語（1.3%）と比較した場合<sup>注11)</sup>、日本語を除けば、上位三つまでは同じである。以下、英語以外の具体例をあげておく。日本語：「エッチな」「オトメチックな」「パーミーな」「ハイカラな」「ハイセンスな」「ファンタジックな」「ポルノチックな」「マンガチックな」「メルヘンチックな」「ロマンスグレー」「ワスパターンな」。フランス語：「アバンギャルドな」「アプレゲールな」「アンティークな」「アンニュイな」「アンビバレントな」「シックな」「デカダンな」「バロック」「マットな」「レトロな」。ドイツ語：「インポテンツな」「エネルギーッシュな」。ラテン語：「ニヒルな」「ハイブリッドな」。スペイン語：「マッちょな」。

戦後、アメリカ軍を中心部隊とする連合国軍の占領下にあった日本では、英語（特に米語）が急激な勢いをもって増えたが、その90%以上を英語を原言語とする外来系「な」形容詞も例外ではない。改めて、英語系「な」形容詞の多さに驚かされる。

## 3：原語の品詞性

「エッチな」という特別な成立事情を有する語を除いた<sup>注12)</sup>377語の中で、356語が、外国語のいわゆる形容詞<sup>注13)</sup>であり、比率は94.4%を占める。また、同じく「エッチな」を除いた「な」形容詞258語の中でも、238語、比率にして92.2%を占める。以下、形容詞以外の具体例をあげておく。N：「art」「avant-garde」「aventure」「après-guerre」「Impotenz」「cash」「city」「doubt」「nihil」「violence」「high collar」「high sense」「high society」「hit」「mismatch」「renewal」「one pattern」。P：「about」。Pf：「super」「multi」「rétro」。

一般に、外来系「な」形容詞は、原言語の形容詞を語幹としてそれに活用語尾を付けることによって生成されるが、実際、上記の語以外の約90%以上の語がこの原則に基づいていることがわかる。

最後に、将来の外国人日本語学習者用の基本外来系「な」形容詞の設定の視座とすべく、語彙表のまとめ



として筆者の語彙表及び「語彙表A」「語彙表B」三者に共通する「な」形容詞を以下にあげておく。それらは26語あるが、「デカダンな」「ハイカラな」「モダンな」の3語は、前述のごとく最近ではほとんど使用されていないので除き、実際には次の23語を記す。

「ウェットな」「エレガントな」「オーソドックスな」「オープンな」「クラシックな」「グロテスクな」「シックな」「スポーティーな」「スマートな」「センチメンタルな」「ダイレクトな」「タフな」「デラックスな」「ドライな」「ドレッシーな」「ハンディーな」「フリーな」「プレーンな」「ポピュラーな」「リアルな」「ルーズな」「ローカルな」「ロマンチックな」

以上の語を一つの核として、今回扱った語彙表の「な」形容詞を中心に、現時点では複合語の連体修飾成分としてのみ使用される語も視野に入れつつ、語義・位相の観点からの分析を加えながら、基本外来系「な」形容詞を設定し、あわせてその実際の指導への有効な応用のあり方について考察することを今後の課題としたい。

〔注〕

- 1) この語は、フランスでは“戦後派”すなわち“第一次世界大戦前の風習・道徳・文化に反逆する世代や傾向”を意味し、日本へはまず大正時代に入ってきた。しかし、この語が日本人に多用されたのは、第二次世界大戦後の昭和24～25年に、敗戦を契機に軽薄に米国化された青年達をさし示す語として流行した時である。
- 2) 本学国文科に学ぶ女子学生69名を対象に「な」形容詞の使用実態調査を行ない、その中から無作為に50名のアンケートを選んで集計した結果の一つである。
- 3) 日本語では、形容詞と形容動詞を合わせたいわゆる形容語の数は少なく、また、使用度も低いため、その基本度が他の言語に比して一般に低いことが一

つの特徴となっている。従って外来系「な」形容詞の基本語中の率も低くなっているが、実際に日常語として定着しているものは少なくはないと考えられる。

- 4) 戸田利彦「外来語に関する基礎的研究(Ⅰ)―基本外来語の語形を中心に―」、『比治山女子短期大学紀要』第28号, 1993, p.66.
- 5) 本学国文科に学ぶ女子学生69名を対象に、筆者の作成した語彙表に補充する形式のアンケート調査を行なった。
- 6) 『分類語彙表』(国立国語研究所S39)において「相の類」に分類されているものは、原則としてすべて取り上げた。
- 7) 原語の品詞性が形容詞であるものに限定した。
- 8) この用語に関しては「形容詞の仲間(相の類)には、《ない》に関するものは、《どう、どうだ、どんな、どんなに》等の概念を表わす語、およびそれらを問いとしたときに答えとなるべき語を収める。品詞論的には、形容詞ばかりでなく、いわゆる形容動詞、連体詞や、ある種の副詞を含む。」(同書p.4)とある。
- 9) この用語に関しては「名詞の仲間(体の類)には、《何、何ごと、何もの、どれ、だれ、いつ、どこ、いくつ》等の概念を表わす語と、それらを問いとしたときの答えとなるべき語を収める。」(同書p.4)とある。
- 10) 品詞の認定基準については特にふれられていない。
- 11) 林大監修『図説日本語一角川小辞典9一』(p.72)による。
- 12) 日本語の「変態」をローマ字書きにした「hentai」頭文字の「H」を基にしてできた語である。
- 13) 語彙表に掲載した和製英語や和製ドイツ語は、和製外国語としてこの中に入れた。

(受理 平成5年10月30日)

**Abstract**

A Study of Loanwords in Japanese (II)  
 — Morphological Analysis of *Na* Adjectives —

Toshihiko TODA

(Department of Japanese Literature)

A large number of *na* adjectives adopted from the European languages, mainly English, are now being used in the Japanese Language. On the contrary, only few of them are selected as basic loanwords. Although nouns are most important words for Japanese Language learners, basic *na* adjectives should be taught more actively and carefully. It is necessary to pay attention to their forms, their meanings, their linguistic phases, their fundamentality, and so on.

This paper focuses on morphological peculiarities of *na* adjective loanwords that are used in daily life. Basically, adjectives of foreign languages are adopted into the Japanese language as *na* adjectives. But there are some exceptions. Some parts of speech that are not adjectives are adopted as *na* adjectives and adjectives of foreign languages are adopted as other parts of speech in the Japanese language.

This study was done in the following order.

Firstly, 259 *na* adjectives and 119 *Jun-na* adjectives (“semi-adjectives” that are used as adjectival combination forms of compound nouns) are selected after some research. These 378 words can be considered as words used among Japanese people in daily life. This study include words used mainly by young people and also the abbreviated forms of original words.

Secondly, words mentioned above are analyzed from the following points of view:  
 1: adoption in vocabulary tables (classification/recognition of parts of speech)

- (1) *Bunrui Goihyō* (*Word List by Semantic Principles*, published by National Language Research Institute)
- (2) *Nihongo Daijiten* (*Japanese Comprehensive Dictionary*, published by Kōdan-sha)

2: original languages

3: original words

- (1) spelling
- (2) parts of speech

Thirdly, 23 words are judged as the most important fundamental *na* adjective loanwords used in daily life, because they are listed in the vocabulary tables above and are judged to be commonly used among Japanese people.

(Received October 30, 1993)